

ミュージア川崎シンフォニーホールでは劇場・音楽堂等で働く皆様へ向けて「セミナー&ディスカッション」を、今年度も開催いたします。

今年のテーマは「多様性のある社会に向けて」です。各分野で活躍している方をゲストとしてお迎えし、前半はセミナー、後半は参加者もゲストも丸くなって日ごろから気になっていること、ずっと聞いてみたかったことなどみんなで話し、考えることで、様々なレベルでの新しい可能性が見えてきます。奮ってご参加ください。

平成28年度 ミューザ川崎シンフォニーホール セミナー&ディスカッション
多様性を認め合う社会に向けて
音楽の可能性を探る

第2回 あらゆる人々の芸術体験のために
～聴こえないってどういうことだろう～

2017年2月26日(日) 時間：10:00～12:30(予定)
会場：ミュージア川崎シンフォニーホール 企画展示室

ゲスト：萩原昌子 (シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 副理事長)

聴こえない、見えない方も「みんなで一緒に舞台を楽しもう！」を合言葉に活動をしているNPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワークの副理事長・萩原昌子さんをお迎えして、聴こえないとはどういうことか、音楽ホールとして準備すべきものは？など、ご自身の経験をふまえてお話いただきます。

事例紹介：山下 桜 (パイオニア株式会社) 「身体で聴こう音楽会」

身体で聴こう音楽会は、パイオニアの企業理念『より多くの人と、感動を』のもと、創業者、松本望が考案した音を振動に変えるユニット「体感音響システム」を使用し、聴覚に障がいを持つ人にも音楽とリズムを楽しんでいただきたいと願い、1992年から継続して開催している音楽会です。



萩原昌子 (Masako Hagiwara)

右耳全聾、左耳高度感音性難聴。
幼少期から言葉をとおして出会う文化芸術の世界に親しみ、演劇や映画、アートが大好き。
文化芸術を通じた聴覚障害者等の社会参加の機会拡大のために、日本ろう者劇団在団時代の友人とともに、舞台芸術におけるアクセシビリティ(障害者の観劇環境の充実)の確立を目指して活動中。
NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク副理事長
神奈川県手話言語推進協議会委員

参加費：無料(事前申込制・先着30名)

申込方法：3日前までに oubo@kawasaki-sym-hall.jp 宛てに必要事項(お名前、お勤め先・所属部署、ご連絡先(電話・メール))をご記入いただくか、下記申込用紙にご記入のうえ、FAXにてお申込みください。
申込多数の場合は先着順とし、ご参加いただけない場合のみ、ご連絡いたします。

お申込み FAX：044-520-0103

お名前		
お勤め先 所属		
ご連絡先	(電話)	(メール)

主催：ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎文化財団グループ)
お問合せ：ミュージア川崎シンフォニーホール 事業課 セミナー&ディスカッション係 044-520-0100
平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業